

訂正

人間生活文化研究, 27 (2017), p.134-139

論文種別：報告

論題：「情報的な見方・考え方」の枠組みに沿ったモデルカリキュラムと教材の提案

Suggestion of a model curriculum and the teaching materials along the framework of Informational Perspectives and Ways of Thinking

著者：本郷 健，米山 泰夫，永井 克昇，本村 猛能，山本 利一，齋藤 実

Takeshi Hongo, Yasuo Yoneyama, Katunori Nagai, Takenori Motomura, Tosikazu Yamamoto, and Minoru Saito

表1 (p.137) に誤りがありました。以下のとおり訂正します。

【誤】

表1 情報的な見方・考え方の中心概念

認識科学 ：情報を軸として事象を捉えるために
a) 「情報の普遍原理を通して事象を理解する見方・考え方」
b) 「事象を，情報を軸としてモデル化・抽象化する見方・考え方」
c) 「システムの構造を使って事象を読み解く見方・考え方」
認識科学 ：情報を介して人工物（制度・方策等を含む）を案出して新たな価値を生むために
a) 「情報や情報技術に関わる問題を発見し，解決する見方・考え方」
b) 「情報を目的に合わせて設計し，構築する見方・考え方」
c) 「計算モデルの設計とコンピュータにより自動実行させる見方・考え方」
d) 「情報処理の原理や仕組みをコンピュータやネットワークなどの情報機器で実現する見方・考え方」
e) 「情報を扱う技術やシステムを評価し，運用する見方・考え方（情報ガバナンス）」
f) 「情報を社会のために生かし，健全な社会を構築するための健全で批判的な見方・考え方」
g) 「高度情報社会におけるよりよい社会的ルールを構築，遵守する見方・考え方」

【正】

表1 情報的な見方・考え方の中心概念

認識科学 ：情報を軸として事象を捉えるために
a) 「情報の普遍原理を通して事象を理解する見方・考え方」
b) 「事象を，情報を軸としてモデル化・抽象化する見方・考え方」
c) 「システムの構造を使って事象を読み解く見方・考え方」
設計科学 ：情報を介して人工物（制度・方策等を含む）を案出して新たな価値を生むために
a) 「情報や情報技術に関わる問題を発見し，解決する見方・考え方」
b) 「情報を目的に合わせて設計し，構築する見方・考え方」
c) 「計算モデルの設計とコンピュータにより自動実行させる見方・考え方」
d) 「情報処理の原理や仕組みをコンピュータやネットワークなどの情報機器で実現する見方・考え方」
e) 「情報を扱う技術やシステムを評価し，運用する見方・考え方（情報ガバナンス）」
f) 「情報を社会のために生かし，健全な社会を構築するための健全で批判的な見方・考え方」
g) 「高度情報社会におけるよりよい社会的ルールを構築，遵守する見方・考え方」